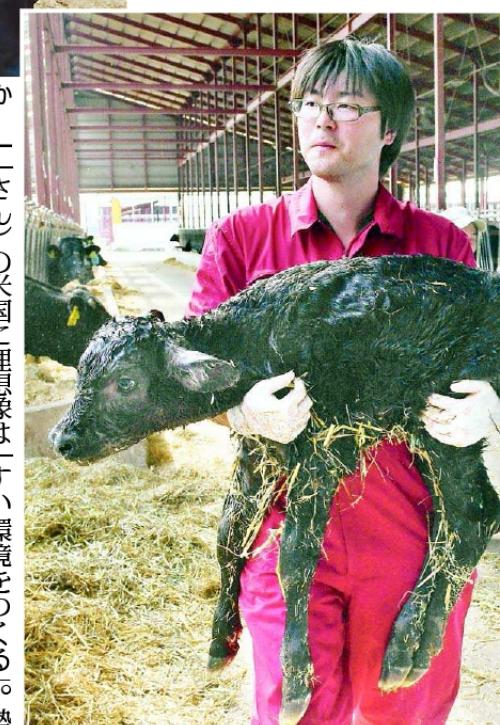


# 畜産ギガファーム率いる「怪物」

若者力

共生」や「持続可能性」を重視してきた。そして、今に至る。

ノベルズの社員の平均年齢は33歳。20代も多く活躍する。一方、2016年の全国の農家の平均年齢は66・4歳で高齢化が進む。酪農家、肉牛の農家戸数は11年90・6万戸から16年は68・9万戸に減少と離農が顕著だ。和牛子牛の価格は11年38万円から16年81・2万円と高騰。ノベルズは市場需要に応える体制を敷く。



# 「強い」より「共生」「持続」



写真上=若い牧場長たちと話す延与社長(右から2人目)▶右=生まれたばかりの子牛を大事に抱きかかえて運ぶ従業員。20代がしのぎを削り合う(北海道上士幌町で)

## 成功イメージ常に

一面から続く

「日本一の畜産農家になる」。小学3年生から「ノベルズグループ」のトップになった。ノベルズグループにいた。「怪物」、北海道上士幌町の延与雄一郎さん(39)。今も事あるごとに発する「勝つ」の言葉。でも、誰かを蹴落としたいわけではない。親に欲しいもの言い出されなかつた。同級生の家には大きなトラクターがあった。父について行くのが牧場で一年研修した。だが、「規模だけ」(延与

米国に手本なし

にかかる。金がのしかかっていることは子ども心に感じた。親に欲しいもの言い出されなかつた。同級生の家には大きなトラクターがあつた。父について行くのが牧場で一年研修した。だが、「規模だけ」(延与

八つの牧場にはトップの思いをくみ取るリーダーがそう。スタッフ50人の司令塔を担う小樽市出身のノベルズ牧場長、三上濃さん(34)は「社長の熱を社員に伝導させていく。規模が大きくな

2006年、「ノベルズ」を設立。和牛子牛の低迷が襲う11年。あえて、地域の倒産寸前の牧場を買った。「どん底の市況は必ず上向く」。供給が必要に追い付かない今の牛相場が、当時、既にイメージできていた。

### 一流人材ぞろい

う。周囲の辛辣(しんらつ)な評価に奮い立つ。受精卵が取れない、受胎しない。失敗の連続だった。眠れない夜が続いた。できるわけがない」という。延与さんが自指す頂点とは何か。追い求めてきたのは「規模だけ、自分だけ、今だけ」の強い農業ではない。地域で独立して、勝ちしたいわけでもない。貫して「地域との

決して、無駄ではない。全て成功因をイメージし、商機を見据える。地域を思い、土壤リスクを減らすために、必要な投資をする。5月に稼働したバイオガスプラント。電力と液肥を地元に還元する。地主、それぞれの分野の工場設計、酪農、総務、経営コンサルタントなど、それぞれの分野の人材を引き抜く。

トコーン。十勝地方の畑作農家の輪作の一環にするべく、今年から本格的に連携に動きだした。預託農家や畑作農家ら、連携する農家は50に上る。今後も人数を増やす計画だ。

乳牛の飼料向け「デンガスプラント。電力と液肥を地元に還元する。地主、それぞれの分野の工場設計、酪農、総務、経営コンサルタントなど、それぞれの分野の人材を引き抜く。

### 畑作農家と連携

共生」や「持続可能性」を重視してきた。そして、今に至る。